HOKKAIDO UNIVERSITY

Title	明治期北海道における戦争と慰霊［論文内容及び審査の要旨］
Author(s)	相庭, 達也
Degree Grantor	北海道大学
Degree Name	博士(文学)
Dissertation Number	甲第14563号
Issue Date	2021-03-25
Doc URL	https://hdl.handle.net/2115/81247
Rights(URL)	https://creativecommons.org/licenses/by/4.0/
Type	doctoral thesis
File Information	Tatsuya_Ainiwa_review.pdf, 審査の要旨

Hokkaido University Collection of Scholarly and Academic Papers

Hokkaido University Collection of Scholarly and Academic Papers : HUSCAP

学位論文審査の要旨

博士の専攻分野の名称：博士（文学）　　氏名：相庭　達也

審査委員	主査	教　授	白木沢　旭児
	副査	教　授	谷本　晃久
	副査	准教授	林寺　正俊

学位論文題名
明治期北海道における戦争と慰霊

・当該研究領域における本論文の研究成果

本論文の研究成果としては、第一に、西南戦争、日清戦争及び台湾征服戦争における北海道民の出征者および戦没者について、氏名を可能な限り明らかにして示したことである。北海道全域における徴兵制の適用が 1898（明治 31）年であったことから、これまでは西南戦争、日清戦争については北海道民の出征という事実が正確に認識されていなかった。しかし、西南戦争へは屯田兵が出征しており、日清戦争及び台湾征服戦争では、道外（本籍地）の師団に所属して北海道民が出征していた。その結果、病死等を含む戦没者総数は西南戦争では 37 名、日清戦争及び台湾征服戦争では 60 名以上であったことが明らかにされた。

第二に、北海道全域に徴兵制が施行されていた時期に起きた日露戦争についても、北海道民の出征について厳密に分析したことである。当該期の北海道では、本籍を道外に有する者は道外の師団に召集された。北海道に設置された第七師団は、定員を満たせなかったために、道外の各師団から兵士を受け入れて出征させた。こうした出入りを踏まえて、申請者は「北海道関係者」という概念を用いて北海道民および第七師団の出征者を確定することができた。その結果、病死等を含む戦没者総数は 4,708 名以上であることが明らかにされた。

第三に、戦没者慰霊のあり方が、東京招魂社（靖国神社）と北海道では異なることを明らかにしたことである。西南戦争の戦没者は、戦闘死（溺死を含む）に限定された東京招魂社に対して、開拓使の屯田兵招魂碑には 28 名の戦病死者の名も刻まれた。日清戦争及び台湾征服戦争では靖国神社には合祀されない軍夫（陸軍雇人）が北海道護国神社および札幌護国神社に多数合祀された。第二師団管下の仙台、盛岡においても軍夫が慰霊対象になっていたことが先行研究により知られており、今後、各地の調査を進める必要が指摘されている。

戦没者慰霊に関する研究は、靖国神社への現代的関心から出発していたが、近年は地方における戦没者慰霊の研究を実証的に行う傾向にある。本論文は、北海道を対象地域として、戦争への出征者、戦没者を明らかにしたうえで、慰霊のあり方についても東京招魂社（靖国神社）、北海道護国神社、札幌護国神社それぞれの多様性を見出して

いる。本論文は、これらの諸点においてこの分野の研究に重要な貢献をなしたものと評価することができる。

・学位授与に関する委員会の所見

口頭試問では、申請者が行なってきた神社、寺院所蔵文書調査を含む資料調査や各都道府県護国神社への調査（照会）および墓石、慰霊碑、招魂碑等の碑文調査などのフィールドワークが、貴重な事実の発見につながったことが高く評価された。

他方では、申請者が北海道特有の問題として捉えている寄留民の徴兵の問題などは東京、大阪など人口流入地では共通して見られる現象なので、より一般化して見ることの必要性が指摘された。また、靖国神社と各都道府県護国神社との合祀対象の差異についても、他の事例がわからないために、北海道における慰霊の特質であるとみなすことには留保が必要だとの指摘もなされた。

しかし、本論文が明らかにした成果および資料調査の方法は、他地域を対象とする地域戦争史、戦没者慰霊研究にとって、重要な貢献となることは間違いない。

以上の審査内容を踏まえて、本審査委員会は、全員一致して申請者・相庭達也氏に博士（文学）の学位を授与することが妥当であるとの結論に達した。